

予選レポート

2021/4/24 Rd-2 鈴鹿サーキット

天候：曇り時々晴れ 気温：20℃ 出走台数：19台

2021年開幕戦富士で3位表彰台を獲得した福住選手。牧野選手にかわってステアリングを握り、ポイントを持ち帰った笹原右京選手。若手ドライバーの活躍が目立った開幕戦だったが、第2戦鈴鹿はシーズンの鍵となる大切な一戦だけに、鈴鹿を得意とするベテラン勢も入乱れての激戦となるだろう。

ノックアウト第1予選A組の笹原選手は、予選開始と同時にマシンのウォームアップとチェックランを行い、残り6分を切ったタイミングでニュータイヤを装着してコースイン。

3番手で第2予選に進む。

B組福住選手も開始と同時にチェックランを行い、残り5分でコースへ。次々と区間タイムを伸ばし、トップで第2予選へ進んだ。

続く第2予選、福住選手は、2番手に0.3秒の大差をつけて首位に。笹原選手は、セットアップを修正して臨むが、路面コンディションに合わず7番手で第3予選に進んだ。

第1、第2予選に続いて首位を狙う福住選手は、第3予選をミスなくまとめトップタイムを記録、全セッションで1位となるパーフェクトな予選で、自身初となるポールポジションを獲得した。笹原選手は、セットアップをさらに修正。感触は良くなるが5位。明日は3列目からのスタートとなる。

5：福住選手 予選1位 (第1予選B組1位 第2予選1位 第3予選1位) HONDA 勢1位

フリー走行から、マシンも自分自身も感触が非常によく、チームも走るたびに素晴らしい車を仕上げてくれ、全セッショントップで完璧な予選となりました。

スーパーフォーミュラでは自身初のポールポジションです。予選2位や3位は何度かあり、そのたびに悔しい気持ちでしたので、とてもうれしく思います。

明日もこの好調を維持し、ポール to ウィンの完全勝利で終わられるよう、しっかりと準備し、スーパーフォーミュラ初優勝に向け精一杯力を出し切ります。

6：笹原選手 予選5位 (第1予選A組3位 第2予選7位 第3予選5位) HONDA 勢4位

フリー走行、予選と、マシンバランスは良く、手ごたえも感じていました。データ上では、ポールポジション獲得した福住選手にも遜色ないコーナースピードでしたが、加速区間でのロスがあり、タイムを伸ばすことが出来ませんでした。

5位スタートは十分に表彰台、そして優勝を狙えるポジションです。

チームと共に戦略とセットアップを検証し、先頭でゴールすることに集中します。